

平成元年度 財政調整基金などに 補正予算 一億二千万円を積み立て

平成二年第三回市議会定例会は、六月十五日から二十二日まで開かれ、提案された八議案を審議し、すべて承認、可決されました。平成元年度一般会計では、三億四千万円の黒字が見込まれるため、財政調整基金などに補正を行いました。

承認、可決された 主な議案

●市税条例の一部改正、市入湯税条例の一部改正 専決処分
地方税法の一部を改正する法案が特別国会で可決成立し、三月三十一日に公布されたことに伴い、改正したものです。専決処分により、四月一日から施行しました。

●平成元年度一般会計補正予算(第九号) 専決処分
収入役の選任に関連して、職員退職手当の追加を行いました。

●平成元年度一般会計補正予算(第十号) 専決処分
歳入歳出にそれぞれ一億三千九百万円を追加し、予算総額を九億二千七百二十九万円としました。

●平成二年度一般会計補正予算(第一号)
歳入歳出にそれぞれ一千九百五十万円を追加し、予算総額を八億二千六百九十五万円としました。

●平成二年度老人保健特別会計補正予算(第一号) 専決処分
歳入歳出にそれぞれ九百五十万円を追加し、予算総額を二億五千四百八万円としました。

●平成二年度老人保健特別会計補正予算(第一号) 専決処分
歳入歳出にそれぞれ九百五十万円を追加し、予算総額を二億五千四百八万円としました。これは、平成元年度決算の基準月の十二月以降の医療費が予想以上に増加したため、二年度予算で繰り上げ充て金を補正したものです。財源は支払基金と国、県から精算交付されます。

●平成二年度老人保健特別会計補正予算(第一号) 専決処分
歳入歳出にそれぞれ九百五十万円を追加し、予算総額を二億五千四百八万円としました。

●公平委員会委員の選任
花岡太郎さん(和泉・六十六歳) 任期は四年で、三期目。

同意された 人事案件

●公平委員会委員の選任
花岡太郎さん(和泉・六十六歳) 任期は四年で、三期目。

審議された 請願など

▽請願第一号「電話番号案内無料の存続に関する意見書」議決
についての請願保留
▽請願第二号「ゆとり宣言」に関する請願保留
▽請願第三号「森林の復元を求める国会請願の実現を求める意見書」の議決についての請願採択
▽請願第四号生産費を償い、労働者なみの労賃を保障する生産者米価の実現を求める請願保留
▽請願第五号コメ輸入自由化阻止、日本農業と食糧を守る請願保留
▽意見書第一号森林の復元を求める国会請願の実現を求める意見書可決
▽意見書第二号コメ市場開放阻止及び良質米奨励金の現行確保に関する意見書可決
▽決議第一号新潟中央短期大学の四年制大学昇格に関する決議可決

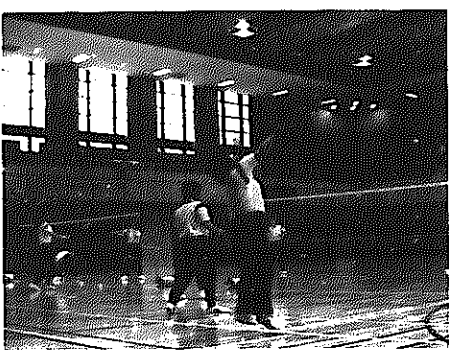
市環境衛生協会 創立25周年を祝う

市環境衛生協会(小林寛会長)の創立二十五周年を祝う記念式典が六月二日、各地区の代表など百三十人が出席して行われました。小林会長のあいさつに続いて行われた表彰式では、上木山、下木山両地区に防除機を一台ずつ寄贈された柏光男さん(下木山)が、公衆衛生事業に功績があったとして表彰されました。公衆衛生を住民の自主的な組織活動で推進している同協会は、衛生思想の普及や害虫の駆除、空き缶クリン作戦など地道な活動を展開してきました。環境問題が大きくクローズアップされている今、同協会の活動に寄せる期待は大きいものがあります。二十五周年を一つの節目として、公衆衛生活動の一層の推進を誓い合いました。



市政短信

カルチャーセンター いよいよ一般利用が開始されました



カルチャーセンターが六月一日からオープンし、一般利用が開始されました。すでに五月二十六、二十七日に開催した「しるね30市民のつどい」で多くの市民からカルチャーセンターを見ていただきましたが、文化・スポーツ活動の拠点として、本格的に活動が開始されたことになりました。

一般利用者第一号となった藤井喜三郎さん(中央通5)は「オープンを心待ちにしていました。利用者第一号とは光栄です」と話し、さっそくランニングコースへ。またこの日は、オープン初日ということで、婦人バドミントンクラブとテニスクラブの

カルチャーセンターは、簡易保険、郵便年金の積立金から還元融資を受け、建設されています。



皆さんを招待。メインアリーナで練習に汗を流しました。「あまり広くて、ちょっと戸惑ってしまいましたが、気分は最高です」とバドミントンの皆さん。「とても明るいのに驚きました」とテニスの皆さん。トレーニングルームでは、斉藤正美さん(南新町)ご夫妻が、真新しい器具で体力づくり。「年間利用の定期券を購入しました。毎日こつこつとトレーニングします」と話します。

体育レクリエーション課では「カルチャーセンターの施設見学は無料で、開館時間中であればいつでもできます。施設を個人で利用する場合は、一回一人百円で利用できます。四カ月、六カ月、十二カ月の定期券もあります。気軽に利用してもらいたいですね」と多くの市民からの利用を呼び掛けている。



大風合戦立体ビデオ撮影を終了

ふるさと創生事業として決定した「白根ふるさと館」で上映する立体ビデオ「(仮称)大風合戦」の撮影が、五月十九日から六月四日まで行われました。この立体ビデオは、迫力ある立体映像として、いつでも大風合戦を実感できるよう製作するものです。

撮影を担当するNHK放送研修センターのスタッフ五人は、最新鋭の撮影機材を手に、時間の許す限り撮影現場を飛び回りました。大風合戦はもちろんのこと、大風の製作過程、出陣式、パレード、白根の街並みなどの撮影を順調に終了しました。立体ビデオは、この後編集作業を行い、約十三分のレーザーディスクとなります。市では、十月中旬に市民を対象に試写会を予定しています。

風のまち白根をPR 大風看板が完成

これと同じ大きさの大風看板が、教育委員会庁舎脇の、国道8号沿線に完成しました。「風のまち白根」を大いにアピールしようというこの大風看板、高さ七メートル、幅五メートルのサイズで、両面に大風の絵が鮮やかに描かれ、今にも舞い上がらんばかりです。記念撮影用の階段も設けられていますので、ぜひご利用ください。

また、同じ8号沿線の大通公園内には、「ようこそ白根市へ」「またどうぞ白根市へ」と、風合戦と白根特産の果樹を描いた観光看板も設置しました。今までのような観光看板がなかったことから、これらの看板の設置が「観光客の増大につながる」と商工観光課では期待を寄せています。

学びながら仲間づくり あぜみち講座開講式

農業に従事するおむね四十歳までの婦人を対象に開かれていたあぜみち講座。農業や暮らしについて学びながら仲間づくりをと、三十人の受講生が集まりました。

五月三十一日、農業会館で行われた開講式では、滝沢市長が「これからは生産費を下げる努力とともに、付加価値を付ける工夫も大切。仲間づくりをしな



がら頑張ってください」とあいさつ。その後、月瀬村公民館長の植村信さんが「本気になると自分が変わってくる」と題して講演し、受講生たちは熱心にメモを取っていました。